

現代社会学特論C I

科目ナンバリング SOC-401
選択 2単位

山下 雅之

1. 授業の概要(ねらい)

フランス社会学の始まりは19世紀前半のオーギュスト・コントによる実証主義からといわれている。その理論的な展開を理解し、またその後の社会学の発展にどのように受け継がれていったのかを把握する。

2. 授業の到達目標

フランス社会学の起源とされる思想と、その歴史的な背景について一定の理解を得る。

3. 成績評価の方法および基準

授業内容を十分に理解し、自らの問題意識と重ね合わせてゼミで発表することができるかを総合的に判断する。

4. 教科書・参考文献

教科書

山下雅之 コントとデュルケームの間:1870年代のフランス社会学 木鐸社

参考文献

オーギュスト・コント 実証的精神論 岩波文庫

5. 準備学修の内容

授業内容に関連する資料の自主的な学習

6. その他履修上の注意事項

7. 授業内容

- 【第1回】 オーギュスト・コントの自伝にかかわる歴史的事件
- 【第2回】 ナポレオンから王政復古の時代へ
- 【第3回】 コントが師事した思想家
- 【第4回】 実証主義の展開
- 【第5回】 社会学の位置づけ
- 【第6回】 社会の進歩と科学の発展
- 【第7回】 弟子による実証主義の継承
- 【第8回】 宗教と実証主義
- 【第9回】 実証主義に影響を受けた政治家たち
- 【第10回】 共和政下の社会思想
- 【第11回】 コントからデュルケームへ
- 【第12回】 実験生理学と社会科学
- 【第13回】 自然主義文学と社会学
- 【第14回】 生物学に影響を受けた社会学
- 【第15回】 デュルケームによる新しい実証主義